

住民向けまちづくり冊子・マップ等の制作

住民が地域の資源や取り組みを知り、地域参加のきっかけにつなげるためのわかりやすい入口として、冊子やマップなどの編集デザインに関わっています。

世田谷区の地域風景資産関連冊子「街に出る。1～4」「地域風景資産マップ・ガイドブック」「地域風景資産10周年記念誌」、世田谷区土地利用現況調査2006の結果を伝える絵本「せたがやの街を読む」、世田谷区国分寺崖線マップ、「小田原ふるさとの原風景百選」の書籍・マップ、「ふるさと港南まち自慢」ガイドブック、三鷹まちづくりガイドブック、川崎市幸区「40周年記念誌 語り継ぐさいわい さいわいの今・未来」、川崎市宮前区「宮前区歴史ガイドまち歩き」マップ、宮前区子育て情報誌「とことこ」、川崎市中原区魅力スポット紹介の冊子やマップ、川崎市二ヶ領用水400周年記念誌、札幌市防災パンフレット（企業防災編・マンション編）、小中学校防災教育用教材開発など、わかりやすいイラストと専門用語をわかりやすく解説しながら多くの成果物をデザインしています。



冊子・マップ・チラシ・広報誌等

Web を活用した住民活動支援

ホームページやデータベース、SNS等を通して、住民活動を広く発信する事業に関わってきました。ITの普及期には、世田谷区で市民活動団体が、自らの活動情報を発信できるデータベースシステム「せたがやGenkiネット（終了）」や、「ママパパぶりっじ（現在、NPO法人せたがや子育てネットが運営するサイトに吸収）」を制作し、ママパパぶりっじでは、東京大学の「カキコまっぷ」という地図にユーザーが情報登録できるシステムと連携したサービスも立ち上げました。退職者世代が地域活動を知り、参加できるキッカケをつくるSNS「せたがや生涯現役ドットネット」の立ち上げにも関わりました。現在は、ホームページでの情報発信を得意としない地域活動を支援するコンテンツ制作として、川崎市高津区では、「地域福祉活動レポートたかつハートリレー」というリレー形式の取材ページの運営や、川崎市多摩区では、町内会・自治会の活動を地域の大学生が地域活動に参加しレポートする「ジモカツ」というコンテンツを「多摩区町内会連合会」のホームページの中に立ち上げ運営しています。



「せたがや Genki ネット」